

発議第8号

平成23年12月22日

雲南市議会議長 藤原政文様

|     |         |      |
|-----|---------|------|
| 提出者 | 雲南市議会議員 | 山崎正幸 |
| 賛成者 | 同上      | 安井誉  |
| 〃   | 同上      | 高橋雅彦 |
| 〃   | 同上      | 土江良治 |
| 〃   | 同上      | 周藤強  |
| 〃   | 同上      | 吉井傳二 |
| 〃   | 同上      | 小林眞二 |

### 地方の社会資本整備の促進を求める意見書

上記の議案を別紙のとおり、会議規則第14条の規定により提出します。

提出先

衆議院議長  
参議院議長  
内閣総理大臣  
総務大臣  
財務大臣  
農林水産大臣

## 国土交通地方の社会資本整備の促進を求める意見書

この度の東日本大震災においては、国の機関を中心に自治体、民間などの必死の努力により、高速道路や幹線道路の速やかな機能確保がなされ、住民避難や物資輸送に大きな役割を果たしたところである。

道路が国民生活や地域経済活動の基盤であると同時に、救急搬送や災害時の迂回路等において必要不可欠な社会資本であることが改めて認識されており、整備の必要性が高まっている。

雲南市でもここ近年、災害が多く発生しており、市民の「安心・安全」を確保しつつ、地域経済の活性化や定住化に向けた取り組みを行う為には、一層の社会資本の整備が必要である。

また、都市と地方の不均衡を是正する為に必要な高速道路ネットワークは、山陰道、尾道松江線は未だミッシングリンクのままであり、一刻も早い整備が求められている。

このような中、9月20日に閣議決定された平成24年度の概算要求基準では、7千億円規模の特別枠は設けられたものの、政策的経費について一律1割の削減が求められるなど、大変厳しい状況となっている。既に公共事業関係予算は平成22年度が対前年18.3%、平成23年度はさらに5.1%削減されており、さらなる削減は、整備が遅れ過疎化、少子高齢化が進む地方をさらに疲弊させ、「地方の荒廃」を加速させることになる。

よって、国におかれては、このような切実な地方の状況を十分に踏まえ、次の事項を実現されるよう強く要望する。

### 記

1. 地方の安心安全な生活確保と定住人口、地域活力の増加に資する公共事業の予算を確保すること。

特に整備が遅れている高速道路のミッシングリンクの解消に向けては、特別枠で予算を確保し、集中的な事業実施を行うこと。

2. 地方の実情に合せた公共事業が計画的に実施できるよう、一括交付金の拡充ではなく、社会資本整備総合交付金、農山漁村地域整備交付金の拡大を図り、雲南市のように社会資本整備が遅れている地域に重点的に配分を行うこと。

3. 大規模で広域的な災害に迅速に対応できるよう、国は出先機関を存続すると共に、更なる危機管理機能と体制の充実、拡充を図ること。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

平成23年12月22日

島根県雲南市議会